

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：菅

会議名： 第3回守山まるごと活性化プランDプロジェクト会議

日時：平成28年7月11日(月)午後2時から

場所：守山会館 2階大会議室

出席者：伴野学区長、弘光代表、尾田副代表、藤本、宇野、和田
ほたるの森資料館 中島館長、古川

出席者(行政)：守山会館 田中館長、菅主事

使用資料：環境バランス水槽の図、実際に設置しているバランス水槽の写真

議題

1. 守山市ほたるの森資料館 館長 中島正一氏との意見交換

会議要旨

内容

1. 守山市ほたるの森資料館館長中島正一氏との意見交換

(1)「今年のほたるの飛翔状況について」

- ・ほたるの飛翔数については、卵を個人で採ってしまう状況があるので正確な数は把握できない。
- ・市に申請すれば採れるということでは、採られすぎてしまうことが懸念される。
- ・増やす活動をされている方は卵採取時に着ける腕章などがあれば分かりやすいのではないか。
- ・昔のホタルはもっと遅い時期に飛んでいなかったか？
→おそらくヘイケボタルが8月頃に飛んでいた。ゲンジボタルは比較的早い6月頃に飛ぶ。
現在、守山市内に生息している多くはゲンジボタルであり、ヘイケボタルは数か所で確認されているのみになっている。ヘイケボタルは年に2回飛ぶ可能性があるので、昔遅い時期に見ていたのはヘイケボタルではないかと思われる。

(2)「環境バランス水槽」に至るまでの経緯について

- ・一般の水槽は水替え・餌・カワニナの貝殻の掃除など初心者には大変な作業があるため、初心者にも扱える「環境バランス水槽」を取り入れた。一般の水槽との違いは、ほたるを入れる前にほたるの餌であるカワニナを水槽に入れ、水槽内で増えてもらう環境を作っておくこと。水を汚さない餌「ブレコ」は環境バランス水槽に向いているが値段が高いため要検討。
- ・水温は常温で、日陰に置くと良い。イヌビワの葉は水が汚れにくいので、カワニナの餌として環境バランス水槽には適している。

(3)各種イベントについて(ほたるの森資料館で行っているほたる関係の事業)

- ・目田川・三津川・あまが池等で保育園児と一緒にホタルの幼虫を放流。
- ・ほたるパーク&ウォーク・夢灯・環境学習会・ほたる講座の実施。
→ほたる講座は年間を通して受講するもの。日程が決まり次第、会館へ連絡する。

(4)今後の「環境バランス水槽」の進め方について

- ・現在ほたるの森資料館にDプロジェクトの環境バランス水槽がある。幼虫を水槽に入れる時期を
(裏面に続く)

決定事項

7月14日(木)の10時にほたるの森資料館でほたるの幼虫投入。
7月14日に、環境バランス水槽を会館に置けるか検討する。

次回以降について

8月8日(月)14時から

会議要旨

内容

確認する。幼虫は200匹投入予定。

・プロジェクトとしては、今年度は環境バランス水槽について勉強し、それから市民の方に見てもらえる場所におくことができればという状況。

・資料館としては、環境バランス水槽を会館に置いていただきたい。川の水またはカルキ抜きした水道水で、水替えは不要。フィルターの掃除は必要。

→気温・電源・置き場所など検討する。置くことになった場合、世話の仕方等再度確認させていただきたい。